



平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月30日

上場取引所 大

上場会社名 テクノアルファ株式会社

コード番号 3089 URL <http://www.technoalpha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青島 勉

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 マネージャー (氏名) 安積良典

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3492-7421

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	758	42.4	78	—	181	—	75	—
23年11月期第1四半期	532	△2.1	△1	—	△12	—	△25	—

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 101百万円 (—%) 23年11月期第1四半期 △20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	35.20	—
23年11月期第1四半期	△11.43	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成24年11月期第1四半期は、潜在株式が存在しないため、平成23年11月期第1四半期は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第1四半期	2,076	1,531	73.8
23年11月期	2,269	1,506	66.4

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 1,531百万円 23年11月期 1,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	21.00	21.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	0.00	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

平成24年11月期の連結業績予想については、開示していません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期1Q	2,316,000 株	23年11月期	2,316,000 株
24年11月期1Q	200,110 株	23年11月期	160,110 株
24年11月期1Q	2,140,381 株	23年11月期1Q	2,215,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に記載の連結業績予想は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の連結業績は、今後様々な要因により、本連結業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
5. 補足情報	13
受注及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気の減速懸念や欧州における財政不安に加え、中国などの新興国での成長鈍化など、世界経済全体に先行き不透明な状況が続いております。また、東日本大震災の影響からの緩やかな回復途上にある日本経済においても、世界的な景気減速や歴史的な円高を受け、先行きに慎重な見方が広がりつつあります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、日本経済の回復傾向を受け、前連結会計年度後半に発生したタイにおける洪水における影響は若干残るものの、東日本大震災発生以前の状況に戻りつつあるといえます。この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は758,691千円（前年同四半期比42.4%増）、営業利益は78,320千円（前年同四半期は1,130千円の営業損失）、経常利益は181,029千円（前年同四半期は12,456千円の経常損失）、四半期純利益は75,346千円（前年同四半期は25,332千円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①半導体装置事業

当事業においては、当社の主力商品であるワイヤボンダーに代表される半導体製造装置やそれに付随する消耗品等を海外より仕入れ、当社が搬送装置等の付加価値を加えるなどした上で、国内の顧客に販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、東日本大震災からの回復基調を受け、装置・消耗品ともに堅調に推移いたしました。この結果、売上高は297,198千円（前年同四半期比30.6%増）、営業利益は93,428千円（前年同四半期比266.6%増）となりました。

②電子材料・機器事業

当事業においては、エレクトロニクスメーカー向けの材料、大学・研究所向けの研究開発用の小型の機器等を国内外から仕入れ、販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、東日本大震災からの回復基調を受け、堅調に推移いたしました。前連結会計年度において不調であった液晶関連の材料についても売上高が大幅に伸張したものの、売上高総利益率が低く、利益面で低調に終わりました。この結果、売上高は203,121千円（前年同四半期比11.1%減）、営業損失は10,647千円（前年同四半期は7,670千円の営業利益）となりました。

③マリン・環境機器事業

当事業においては、マリン事業では、大型船舶向けの救命艇を国内メーカーより仕入れ、造船所に販売、ならびに環境機器事業では、液体の濃縮・分離を行うためのフィルター等を海外より仕入れ、エンジニアリングを行った上で国内の顧客に販売しております。マリン事業については、前連結会計年度以前より受注した案件が予定どおりに売上げましたが、環境機器事業については、第2四半期以降に売上を見込んでおり、当第1四半期連結累計期間においては低調に推移いたしました。この結果、売上高は75,289千円（前年同四半期比1.3%減）、営業損失は13,354千円（前年同四半期は7,280千円の営業損失）となりました。

④S I 事業

当事業においては、前第4四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社ペリテックが、計測・検査システムを顧客から受託し、自社でハードウェア技術とソフトウェア技術を融合した計測・検査システムに仕上げ、顧客に販売しております。当第1四半期連結累計期間においては、大口の受注案件の検収がなされ、好調に推移いたしました。この結果、売上高は178,511千円、営業利益は37,285千円となりました。

⑤その他

当事業においては、上記4事業で取り扱いのない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。当事業の売上高は5,063千円（前年同四半期比4,607千円増）、営業損失は332千円（前年同四半期は902千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,076,126千円（前連結会計年度末比193,235千円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少257,379千円、受取手形の減少44,706千円、売掛金の増加173,477千円及び投資その他の資産の減少43,076千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,531,935千円(前連結会計年度末比25,237千円の増加)となりました。これは主に、四半期純利益75,346千円の計上がされた一方で配当金の支払45,273千円が行われたことによるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は73.8%(前連結会計年度末比7.4ポイント増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、開示しておりません。第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	672,077	414,697
受取手形	70,734	26,027
売掛金	501,993	675,470
有価証券	10,000	10,000
商品	257,216	250,585
原材料	3,580	3,580
仕掛品	35,461	26,000
その他	57,133	55,977
貸倒引当金	△310	△288
流動資産合計	1,607,886	1,462,052
固定資産		
有形固定資産	189,643	187,695
無形固定資産		
のれん	99,483	96,934
その他	13,283	13,456
無形固定資産合計	112,767	110,391
投資その他の資産		
投資有価証券	211,217	232,288
その他	147,846	83,699
投資その他の資産合計	359,063	315,987
固定資産合計	661,474	614,074
資産合計	2,269,361	2,076,126
負債の部		
流動負債		
買掛金	316,512	241,833
1年内返済予定の長期借入金	7,284	7,284
未払法人税等	62,168	18,278
賞与引当金	4,166	10,985
その他	83,060	115,433
流動負債合計	473,191	393,814
固定負債		
長期借入金	42,252	40,431
退職給付引当金	25,866	26,544
役員退職慰労引当金	206,134	69,806
その他	15,220	13,595
固定負債合計	289,472	150,376
負債合計	762,663	544,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,210	100,210
資本剰余金	121,646	121,646
利益剰余金	1,426,079	1,456,152
自己株式	△112,329	△142,826
株主資本合計	1,535,606	1,535,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,239	△10,534
繰延ヘッジ損益	△6,669	7,287
その他の包括利益累計額合計	△28,908	△3,247
純資産合計	1,506,698	1,531,935
負債純資産合計	2,269,361	2,076,126

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	532,720	758,691
売上原価	384,815	488,403
売上総利益	147,905	270,287
販売費及び一般管理費	149,036	191,967
営業利益又は営業損失(△)	△1,130	78,320
営業外収益		
受取利息	1,814	746
受取配当金	120	632
保険返戻金	—	106,100
その他	46	339
営業外収益合計	1,981	107,818
営業外費用		
支払利息	44	248
支払手数料	—	1,431
投資有価証券売却損	66	36
為替差損	13,196	3,392
その他	—	0
営業外費用合計	13,307	5,109
経常利益又は経常損失(△)	△12,456	181,029
特別損失		
固定資産売却損	79	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,075	—
役員退職慰労金	—	44,859
特別損失合計	3,154	44,859
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△15,611	136,170
法人税、住民税及び事業税	480	17,548
法人税等調整額	9,240	43,275
法人税等合計	9,720	60,823
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△25,332	75,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,332	75,346

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△25,332	75,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,943	11,704
繰延ヘッジ損益	△1,435	13,956
その他の包括利益合計	4,507	25,660
四半期包括利益	△20,824	101,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,824	101,007
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	半導体装置 事業	電子材料・ 機器事業	マリン・ 環境機器 事業	S I 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	227,580	228,397	76,286	—	532,264	456	532,720
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	227,580	228,397	76,286	—	532,264	456	532,720
セグメント利益又は損失 (△)	25,484	7,670	△7,280	—	25,874	△902	24,971

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントで取り扱わない商品販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	25,874
「その他」の区分の利益	△902
全社費用（注）	△26,102
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	半導体装置事業	電子材料・機器事業	マリン・環境機器事業	S I 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	297,198	203,121	75,289	178,017	753,627	5,063	758,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	494	494	—	494
計	297,198	203,121	75,289	178,511	754,121	5,063	759,185
セグメント利益又は損失(△)	93,428	△10,647	△13,354	37,285	106,711	△332	106,378

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントで取り扱わない商品を販売し、また、新規の商品の開発を行っております。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	106,711
「その他」の区分の利益	△332
全社費用(注)	△28,058
四半期連結損益計算書の営業利益	78,320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

S I 事業は、前第4四半期連結会計期間より連結子会社となりました株式会社ペリテックが行っている事業であり、当該セグメントを新設しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間において、平成24年1月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を40,000株、30,496千円取得いたしました。なお、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は200,110株、142,826千円となっております。

5. 補足情報

受注及び販売の状況

(1) 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
半導体装置事業	214,438	△43.9	90,636	△68.4
電子材料・機器事業	168,049	△20.2	86,954	△17.1
マリン・環境機器事業	86,880	△24.1	346,420	△10.7
S I 事業	119,089	—	124,974	—
その他	4,217	+94.4	198	△89.1
合計	592,676	△16.5	649,183	△17.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体装置事業	297,198	+30.6
電子材料・機器事業	203,121	△11.1
マリン・環境機器事業	75,289	△1.3
S I 事業	178,511	—
その他	5,063	+1,009.3
合計	759,185	+42.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。